

【西ノ島町教育委員会】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び令和 3 年 1 月 26 日中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」において一人ひとりの子どもを主語にする学校教育の目指すべき姿が示されている。

AI ドリル等の学習支援ソフトウェアを活用し児童生徒の特性や学習到達度に応じた学習機会の提供を行い「個別最適な学び」の実現を目指す。また、授業支援ソフトウェアを活用し、他者との共同作業を通じて、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」の実現を目指す。

2. GIGA 第 1 期の総括

GIGA 第 1 期では、国が推進する「GIGA スクール構想（1 人 1 台端末の有効活用による個別最適化された学習の実現）」に向けて、児童・生徒 1 人につき 1 台 iPad を整備した。

整備後は次のことを実施し利便性向上を図った。

- ・令和 5 年度にネットワーク機器の見直しを行い通信速度を大幅に改善しクラウド環境を十分に活用することができるよう環境整備を行った。
- ・ICT 環境の充実のため教室内充電ステーションの設置や、従来の静電気式タッチペンからパームリジェクション等に対応したスタイラスペンへの変更を実施した。
- ・令和 5 年度全児童生徒に AI ドリルを配布した。

今後も利用増に伴うネットワークの見直しなどを検討し、学校が利用しやすい環境を整備していく。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

(1) 1 人 1 台端末の積極的活用

定期的に ICT 検討委員会を開催し、事例や情報の共有を継続して行う。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

AI ドリルの導入により「個別最適な学び」を促進し、自ら学ぶ力を育みながら、学力の向上を図る。また、令和 4 年度より有償で導入した授業支援システムのより一層の活用を促し、「協働的な学び」が実現するよう環境を整える。

(3) 学びの保障

各教室に Web カメラを設置し、不登校傾向の児童生徒に学習機会を確保した。それらの活用を促進することで近年増加傾向の不登校児童生徒の学習機会を確保し、個別最適化された学びを実現する。本町ではこれらの取組を推進するため、端末の整備・更新により、児童生徒の 1 人 1 台端末環境を引き続き維持していく。